



糖尿病新聞 No,1



新年あけましておめでとうございます。
2016 年を迎え、日ごとに寒さが厳しくなってきました。風邪の予防に努めましょう。当院検査科では、糖尿病の知識や情報を載せた新聞を発行していきたいと思います。
第一回目は、血糖自己測定時の注意点を紹介します。

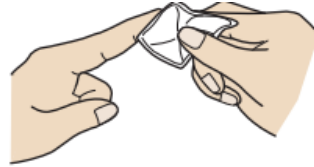
① 採血前には必ず手を洗いましょう

果物をさわった後は、時間経過に関係なく、その指先に付着した糖分が採血した血液と混ざり血糖値が誤って高い値となる可能性があります。



流水で手をよく洗う

② よく乾燥させてから



手を良く乾燥させてから
アルコール消毒

手洗いやアルコール消毒後の乾燥が不十分な場合は、正しい測定結果が得られません。

③ 血液が出にくい場合

- ・手が冷たいと血液の出が悪いのであらかじめ採血する部位を温めたり、マッサージをしたりして血行を良くしてから採血をして下さい。
- ・穿刺後血液が出ないときは、無理に血液を押し出すと組織液が血液に混ざり、正しい値が得られないことがあります。指の腹だけでなく指の付け根から穿刺部位に向かって、ゆっくりと指をもむようにして血液を出しましょう。

指の腹だけ



指の付け根から



3ヶ月に一度は血糖自己測定器の点検をコントロール液を測定することにより、正しい測定結果が得られているか確認できます。採血室で測定器の無料点検を行っています。診察までの待ち時間の間に出来ますので気軽にお声かけて下さい。



★血糖自己測定に関することや測定器の無料点検は、採血室で行っています。気軽にご相談して下さい。

公益財団法人星総合病院中央検査科

平成 28 年 1 月 5 日発行